

「あなたのそばで県議会」に本校生徒会も参加し、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

## 北薩の振興策 高校生ら質疑

さつま町で「そば県」

鹿児島県議会は15日、さつま町の薩摩農村環境改善センター・中央公民館で、県民との意見交換会「あなたのそばで県議会」を開いた。写真。県議43人と住民約60人が参加。北薩地域の振興策を中心に質疑が交わされ、地元の高校生も積極的に意見を述べた。

福祉科がある薩摩中央高校の生徒は、新型コロナウイルスの影響で現場実習が



満足にできないとして「PCR検査費の補助を」と要望。鶴翔高の生徒も、障害や病気がある家族を世話す

る18歳未満のヤングケアラーの施策などを質問した。参加者からは、議員提案で2005年に制定された「かごしま食と農の県民条例」に基づく施策推進のチェックを求める声のほか、荒廃農地の多目的利用を提案する意見が出た。

吉留厚宏副議長は「特に高校生からいろんな意見をもたらした。しっかり県政に反映させたい」と総括した。意見交換会は11年度に始まり22回目。(山下翔吾)